

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターでは、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年5月 放射線医学県民健康管理センター
センター長 神谷研二

【研究課題名】震災後の社会心理的因子及び生活習慣、生活習慣病発症と死亡の関連についての疫学研究

【研究期間】2020年5月（倫理審査承認後）～2025年4月

【研究の意義・目的】

東日本大震災後の東京電力福島第一原子力発電所の事故により避難を余儀なくされた住民のみなさまにおかれては、仮設住宅への入居、見知らぬ土地での生活等により、運動不足、食生活の変化、社会心理的ストレスの増大等がおこり、生活習慣病の頻度が増加する可能性が指摘されています。また、避難地区住民以外においても放射線の影響の不安から外出を控えたり、食生活の変化が生活習慣病に影響している可能性があります。

これらの複合的な要因による心身及び身体面での健康状態の悪化が、避難地域住民における死因に影響を与えていることが考えられます。本研究は、地震、津波、原発事故とそれに伴う長期的な避難などの複合災害による被災の死因への影響を明らかにすることを目的としました。福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターにおいて実施されており、健康診査調査、こころの健康度・生活習慣に関する調査のデータと、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターが保有する死亡・死因に関する情報を組み合わせることで、震災後の身体及び心身の変化、高血圧、糖尿病、脂質異常などの発症、それに起因する循環器疾患発症とアウトカムとしての死因との関連を明らかにします。福島県民の健康づくり、生活習慣病の新規発症及び重症化予防、循環器疾患の発症抑制と重症化予防によるQOL向上につなげることが可能となり、引き続き福島県民及び避難区域住民の健康を見守る上での保健医療政策へも寄与することが可能となります。

【研究の対象となる方】

2011年次に警戒区域、計画的避難区域、緊急時準備区域に指定された市町村（川俣町、田村市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の全域）及び伊達市の一部（特定避難勧奨地点関係地区）に住居登録があった住民のうち、福島県「県民健康調査」における「健康診査」を受けた方、「こころの健康度・生活習慣に関する調査」に回答した方を対象としています

【研究の方法】

本研究は放射線医学県民健康管理センターのデータベースに保管されている平成23年度～平成30年度の健康診査のデータと平成23年度～平成30年度こころの健康度・生活習慣に関する調査のデータ、死亡データを個人番号で突合した上で、連結不可能匿名化したデータの提供を受けて実施します。

平成23年度以降平成30年度の健康診査を受診した方のデータについて、死亡データとの突合を行い、問診項目及び検査結果と、死亡時年齢、死因等のデータとの関連を検討する。

平成 23 年度の健康診査の受診した方のデータをベースラインとして、平成 24 年度以降平成 30 年度までの健康診査を受診して方のデータ、平成 23 年以降平成 30 年度までの死亡データを用いて、健診結果の変化と死亡時年齢、死因等のデータとの間で関連を検討します。

平成 23 年度以降平成 30 年度のこころの健康度・生活習慣に関する調査の回答者における社会的因子(避難先の住居情報、仕事上の変化等)、心理的因子(K6 によるこころの健康度、トラウマ反応、震災体験、リスク認知等)、及び生活習慣(飲酒、喫煙、睡眠、運動習慣、食習慣)データについて、死亡データとの突合を行います。それらのデータ項目と、死亡時年齢、死因等のデータとの関連を検討します。平成 23 年度のこころの健康度・生活習慣に関する調査に回答した方をベースラインデータとし、平成 24 年度以降平成 30 年度までのこころの健康度・生活習慣に関する調査の回答者のデータ、平成 23 年以降平成 30 年度までの死亡データを用いて、社会的因子(避難先の住居情報、仕事上の変化等)、心理的因子(K6 によるこころの健康度、トラウマ反応、震災体験、リスク認知等)、及び生活習慣(飲酒、喫煙、睡眠、運動習慣、食習慣)の変化と死亡時年齢、死因等のデータとの関連を検討します。

平成 23 年度の健康診査を受診し平成 23 年度のこころの健康度・生活習慣に関する調査に回答した方をベースラインデータとし、最初に、こころの健康度・生活習慣に関する調査における社会的因子(避難先の住居情報、仕事上の変化等)、心理的因子(K6 によるこころの健康度、トラウマ反応、震災体験、リスク認知等)、及び生活習慣(飲酒、喫煙、睡眠、運動習慣、食習慣)と健康診査における生活習慣病(肥満、糖異常、脂質異常、高血圧、肝機能障害、心電図異常、多血症、高尿酸血症、腎機能障害等)との関連を検討します。

次に、上記対象となる方の内、平成 24 年度以降平成 30 年度までの健診を 1 回以上受診した方を対象として縦断的に平成 23 年度のこころの健康度・生活習慣に関する調査における社会的因子、心理的因子、及び生活習慣と健康診査における生活習慣病との関連を検討します。これにより、震災後の社会心理的因子及び生活習慣がその後の生活習慣病の発症にどのように影響を及ぼしているのかが明らかとなります。また、上記対象者の方の内、平成 24 年度以降平成 30 年度までのこころの健康度・生活習慣に関する調査を受けた方を対象に、健診の成績が将来のこころの状態にどのように影響を及ぼしているかについても検討を行います。追跡期間中に死亡者について、死亡データと健康診査、こころの健康度生活習慣に関する調査のそれぞれのデータと紐づけにより解析を行います。これにより、避難や震災後の心身の状態が将来の疾患発症・死亡に及ぼす影響を検討できます

本研究の結果の公表については、地域別に解析した結果を各市町村に示すとともに、各市町村の広報誌やホームページ等で結果を広くお知らせいたします。また、全体の結果をホームページ等で公開するとともに、国内外の学会や学術雑誌等により公表いたします

【研究組織】

研究責任者：(所属)放射線医学県民健康管理センター (職名)センター長
(氏名)神谷研二

研究分担者：

(所属)福島県立医科大学

(職名)総括副学長/教授 大戸斉

(所属)放射線医学県民健康管理センター健康調査支援部門、医学部疫学講座

(職名 氏名)主任教授 大平哲也

(所属)放射線医学県民健康管理センター健康調査県民支援部門、医学部災害こころの医学講座

(職名 氏名)部門長 主任教授 前田正治

(所属)福島県立医科大学/医学部公衆衛生学講座

(職名 氏名)副学長/主任教授 安村誠司

(所属)放射線医学県民健康管理センター健康調査基本部門健康診査・健康増進室、
医学部放射線生命科学講座

(職名 氏名)室長 教授 坂井晃

(所属)医学部神経精神医学講座

(職名 氏名)教授 矢部博興

(所属)医学部消化器内科学講座

(職名 氏名)准教授 高橋敦史

(所属)医学部小児科学講座

(職名 氏名)主任教授 細矢光亮

(所属)放射線医学県民健康管理センター疫学室、医学部疫学講座

(職名 氏名)講師 中野裕紀

(所属)放射線医学県民健康管理センター疫学室、医学部疫学講座

(職名 氏名)助教 林史和

(所属)放射線医学県民健康管理センター疫学室、医学部疫学講座

(職名 氏名)助教 長尾匡則

(所属)放射線医学県民健康管理センター疫学室

(職名 氏名)助教 岡崎可奈子

(所属)健康増進センター

(職名 氏名)准教授 馬恩博

(所属)医学部疫学講座

(職名 氏名)講師 江口依里

(所属)医学部糖尿病内分泌代謝内科学講座

(職名 氏名)教授 島袋充生

(所属)医学部腎臓高血圧内科学講座

(職名 氏名)教授 風間順一郎

(所属)医学部健康リスクコミュニケーション学講座

(職名 氏名)准教授 村上道夫

(所属)医学部健康リスクコミュニケーション学講座

(職名 氏名)助教 竹林由武

(所属)健康増進センター

(職名 氏名)講師 宮崎真

(所属)医学部小児科学講座

(職名 氏名)准教授 橋本浩一

(所属)ふたば救急総合医療支援センター

(職名 氏名)講師 風間咲美

(所属)放射線医学県民健康管理センター

(職名 氏名)特命准教授 桃井真帆

(所属)放射線医学県民健康管理センター

(職名 氏名)特命准教授 後藤沙織

(所属)岡山大学医歯薬総合研究科公衆衛生学

(職名 氏名)教授 神田秀幸

(所属)岡山大学医歯薬総合研究科公衆衛生学

(職名 氏名)准教授 久松隆史

(所属)岡山大学医歯薬総合研究科公衆衛生学

(職名 氏名)大学院生 佐能俊紀

(所属)高知大学医学部

(職名 氏名)特任教授 荻野景規

【他の機関等への試料等の提供について】

(提供先機関名称と責任者氏名)

岡山大学医歯薬総合研究科公衆衛生学教授 神田秀幸

(提供データの名称)

「福島県県民健康調査の健康診査、こころの健康度生活習慣に関する調査、死亡データのうち、データ利用申請の承認を受けたデータの項目」

(輸送等の方法)

データを保存した記録媒体を福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターで直接受け取ります。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部疫学講座 担当 大平哲也

電話:024-547-1738 FAX: 024-547-1244

E-mail:teohira@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部疫学講座 担当 大平哲也

電話:024-547-1738 FAX: 024-547-1244

E-mail:teohira@fmu.ac.jp